



萌衣さんのアルゼンチン留学レポート



毎月書こうと思っていましたが、書くのを怠けてしまいすみません。お久しぶりです！

こんにちは！真夏日が続くアルゼンチンに留学している高久萌衣です！クリスマスとお正月についてお話しします。どちらもアルゼンチンは家族と過ごします。前日の夜10時ぐらいに親戚で集まり、アサードという伝統的な食べ物を食べます。**アサードとは、焼肉**のことです。しかし規模が違います。**クリスマスとお正月は親戚で子豚1匹**を完食しました。すごく美味しかったです！アルゼンチンのサンタさんは朝にくるのではなく夜の12時に来ます！対象は小さい子だけだそうです。**お正月の際は12時ちょうどにみんなで乾杯をします。そして親戚全員とそれぞれハグし、キスをします。**友達とは12時をすぎて家族と過ごした後に集まり、子供だけのパーティーを開いて楽しみました。

学校は**夏休みが3ヶ月**あります。私は知らずにアルゼンチンに来たのでびっくりしました。それに、宿題も一個もありません。向陽の子達からしたら考えられないでしょう。私も考えられませんでした。夏休み中は友達と、集まったり、映画を見に行ったり、プールに泳ぎに行ったりなどします。しかし、私が3ヶ月のこの長い夏休みを経験して思ったのが、休みはあり過ぎても良くないと思いました。なぜなら休みは少ないから大事にしたいと思いますが、多すぎると「明日もあるし、大丈夫か」精神が生まれます。わたしはそれと戦うのに苦労しました。

もう1つわたしの町には大きなお祭りがあります。那覇祭りより大きいです。そのお祭りが12日連続で開かれます。このお祭りにはアルゼンチンの他の町はもちろん他の国からわざわざ見に来る人々が沢山います。1日で2万人ほど会場を、訪れます。domaという東京ドームみたいなものがあり、その中で暴れ馬に乗って何秒耐えられるかという伝統的な競技があります。それを見にたくさんの方が来ます。馬から落ちて亡くなる人もいる危ない競技ですが、すごく会場は盛り上がります。その競技が終わるの会場がコンサート会場に変わり、人気の歌手が日替わりで朝の5時までコンサートをします。とても楽しいです！domaの周りには多くの屋台が並んでおり、しかし日本とは違い、食べ物だけではなく、洋服、おもちゃ、など色々なものが普通価格よりも安く売っています！domaは入場料がかかるので行きたい歌手の日以外はdomaの周りを友達とブラブラしたりなどすごく楽しかったです！

アルゼンチンは沖縄よりうちなータイムが激しいです。びっくりしたのがお昼寝の時間というのが必ず毎日あります。**昼の2時から5時までではスーパーでさえ、どこも閉まっていて、買い物する事が出来ません。**カフェやアイス屋さんも全てです。その時間に道を歩いても、沖縄の甲子園応援の時のような車の少なさです。

残り5ヶ月思いつき楽しみたいと思います！

萌衣さんが留学中のアルゼンチンってどんなところ？

アルゼンチンの面積は約274万平方キロメートルで、日本の約7.4倍と、非常に大きな国です。これだけ大きいということで、亜熱帯から南極に近い寒帯の気候まで、いろいろな自然環境を持っています。ブエノスアイレスのまわりには、パンパという名前の大平原が広がります。ここでは、農業や牧畜業が盛んです。パンパの北には、グランチャゴという亜熱帯の台地が広がっています。南の方には、リオネグロの流れを境に、パタゴニアと呼ばれる乾燥した、冷涼な大地が広がっています。1年中風が強く、農業にもあまり適さない土地ですので、広く牧畜が行われています



人口、約4000万人のうち、ブエノスアイレス市に、約300万人、ブエノスアイレス首都圏に1000万人以上と、全人口の約半分はブエノスアイレス周辺に住んでいます。他に、コルドバと、ロサリオが、100万人を超えています。

アルゼンチン人の多くは、イタリア、ヨーロッパを中心とした、ヨーロッパ系の白色人種ですが、北西部（サルタ、フワイ州など）に、インカ系の民族、北東部（ミッシヨネス、フォルモサなど）に、グアラニー族など、それ以外の地域にも、アメリカ先住民族の人々が多く住んでいます。そして、ブエノスアイレス近郊とは違った魅力を感じることが出来ます。また、約30000人の日系人も住んでいます。

アルゼンチンは、日本と12時間の時差があります。ということは、日本が月曜日の朝7時なら、アルゼンチンは、まだ、日曜日の夜7時となります。南半球にあるということで、日本の夏8月は、アルゼンチンでは、冬になりますし、ここでは、クリスマスは、夏真っ盛りに行われます。日本だと北に向かえばだんだん寒くなりますが、ここは、北に向かえば亜熱帯のイグアスの滝がありますし、逆に南には、氷河の世界が存在します。